

平成24年1月

前田恵利 学位論文審査要旨

主 査 萩 野 浩
副主査 平 松 喜美子
同 池 田 匡

主論文

高齢在宅療養者の口腔内微生物—経口摂取群と非経口摂取群における検討—

(著者：前田恵利、中本幸子、池田匡、西村直子、芦立典子、平松喜美子)

平成23年 日本看護科学会誌 31巻 34頁～41頁

審査結果の要旨

本研究は56名の65歳以上の在宅療養者を対象に、不顕性誤嚥による肺炎の起炎菌とされる口腔内微生物より、*P. aeruginosa*、*S. aureus*、*C. albicans*を定量的に測定することにより、食事の経口摂取者と非経口摂取者の口腔内の衛生状態を検討したものである。その結果、*P. aeruginosa*は経口摂取者からは全く検出されなかったが、非経口摂取者において検出率、総菌数（CFU）ともに有意に多く検出された。*S. aureus*、*C. albicans*は検出率、CFUともに2群間で有意差はみられなかった。

本論文の内容は、高齢の在宅療養中の非経口摂取者の口腔内は、不顕性誤嚥による肺炎のハイリスク群であることを示唆するものであり、重点的に口腔ケアを必要とする対象の明確化に寄与し、老年看護学分野での学術水準を高めたものと認める。